

[畑・転換畑作部門]

4. 日長処理による黒大豆枝豆の出荷期間拡大

[要約]

丹波系黒大豆「岡山系統1号」を5月下旬に播種して短日処理すると、8月下旬まで収穫期が早まるが収量と食味は低下する。7月中旬に播種して長日処理すると、収量と食味を維持したまま収穫期を11月上旬まで遅くできる。

[担当] 野菜・花研究室、化学研究室

[連絡先] 電話 086-955-0277

[分類] 情報

[背景・ねらい]

丹波系黒大豆「岡山系統1号」の枝豆は大粒で食味が良いことから市場性が高いが、収穫期間は10月中旬頃の10日間程度に限られている。そこで、日長処理による収穫期間拡大の可能性を把握する。

[成果の内容・特徴]

1. 5月下旬に播種して、遮光による短日処理（8時間日長）を行うと、収穫期は8月下旬まで早まるが、収量は少なく、莢は小さくなる（表1）。この場合の糖含量は少なく、食味は劣る（図1）。
2. 8月上旬に播種すると、収穫期は11月上旬まで遅くなるが、収量は少なく、莢は小さくなる（表1）。この場合の糖含量は多く、食味は良好である（図1）。
3. 7月中旬に播種して、電照による長日処理（18時間日長）を8月上旬まで行くと、収穫期は8月上旬播種と同程度の11月上旬まで遅くなり、収量は多くなるが、莢は小さくなる（表1）。この場合の糖含量は多く、食味は良好である（図1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 栽植密度についてはさらに検討する必要がある。
2. 長日処理のコストについては検討が必要である。
3. 長日処理を行う時には、周辺作物への影響に配慮する必要がある。

[具体的データ]

表1 黒大豆「岡山系統1号」の播種日及び日長処理が収穫期及び収量に及ぼす影響（2008年）

日長処理	短日処理 ^z			無処理（慣行）	長日処理 ^y		無処理
播種日 ^x （月/日）	5/20	5/30	6/10	6/10	7/2	7/11	8/5
定植日（月/日）	6/5	6/12	6/23	6/23	7/15	7/25	8/18
密度（株/m ² ）	7.7	7.7	7.7	1.7	7.7	7.7	7.7
収穫日（月/日）	8/26	9/9	9/16	10/17	11/4	11/4	11/4
収量（kg/10a）	348	493	178	1858	1224	2102	1044
莢長 ^w （mm）	52	50	53	64	51	51	51

^z 8時間日長（処理期間は、5/20播種が6/10～8/26、5/30播種が6/20～9/9、6/10播種が6/30～9/16）

^y 18時間日長（処理期間は、7/2播種が7/2～8/5、7/11播種が7/11～8/5）

^x 72穴セルトレイに播種 ^w 2粒莢について調査した

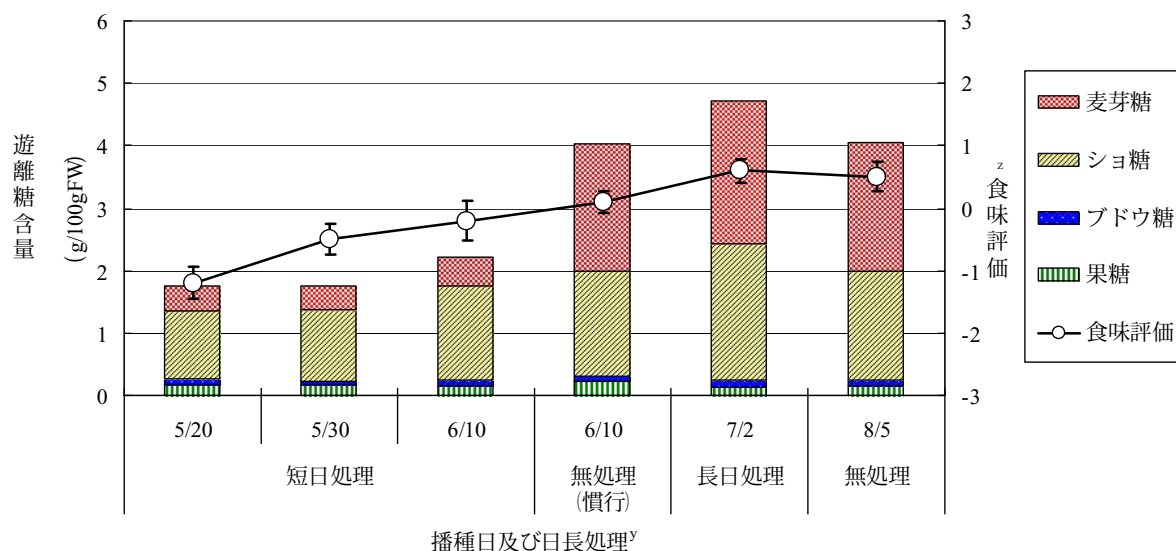


図1 黒大豆「岡山系統1号」の播種期及び日長処理が糖組成及び食味評価に及ぼす影響（2008年）

^z -3～+3の7段階評価（+：おいしい、-：おいしくない）、縦棒は標準誤差

^y 表1に同じ

[その他]

研究課題名：「おかやま黒まめ」の枝豆生産拡大技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2008 年度

研究担当者：岡 修一、高野和夫、田村尚之